

知恵あるビジネスPR

京商が交流会 6プランを認定



第2回知恵ビジネスPR
ランコンテストでプラ
ンの認定証を受け取る
企業経営者ら(京都市
中京区のホテル)

歩は足もとから。知恵に満ちあふれている京都の企業に期待する」と話した。

続いて大木工藝(大津市)の大木武彦社長が認定プランの「フッ素ダイヤモンドドライクカーボン超高密度炭素素材の開発・販売」について説明するなど、6社のトップが自社の認定プランをPRした。
(上野正俊)

京都商工会議所は25日、「京都・知恵ビジネス大交流会2011」を京都市中京区のホテルで開いた。知恵ビジネスプランコンテストでプランの認定を受けた企業が証書を受け取り、顧客創造を目指す自慢のプランを説明した。

同コンテストは今年で2回目。京都の強みを生かした独創性ある

ビジネスプランを募り応募があった84件の中から6件を認定した。立石義雄会頭があいさつで「新しい知恵で挑戦への第一歩を。挑戦こそが成長への道を開く」と呼び掛けた。

ドラッカー学会の藤島秀記代表行が「ドラッカーに学ぶ顧客価値の創造」をテーマに記念講演し、「地球規模で考え、事業の第一